

# パイプロードで安心安全なまちを

～ 高齢者や障害者と環境を考えたまちづくり～

## 1、プロジェクトの目的

今日本では急激な高齢化が進んでいます。それにも関わらず都市化が進み高齢者や障害者のことを考えバス等の交通機関の改善を図っているが、それでも高齢者が生活していくにまだまだ不安があると思います。確かに日本が発展していくのに都市化は欠かせないことです。そこで高齢者や障害者がより都市で快適に暮らしていけるまちを考えたいと思います。さらに環境に関してですが、今年の夏は今までの最高気温を更新するなど日本中が暑くなりました。このような暑い中高齢者や障害者が移動するのは困難だと思います。地球温暖化が騒がれる今こそ、早く対策を立てなければならぬと思います。

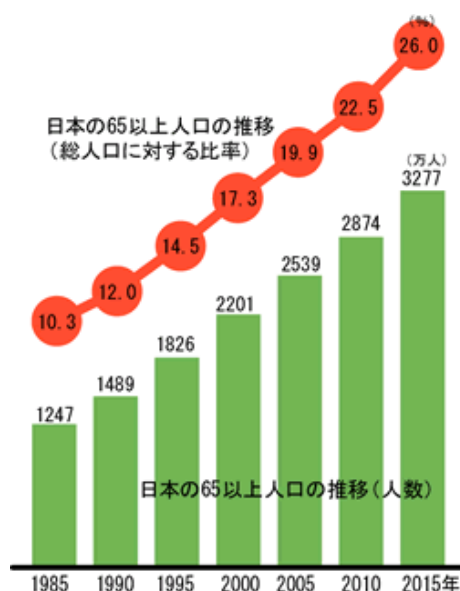


図 1 高齢者人口の推移

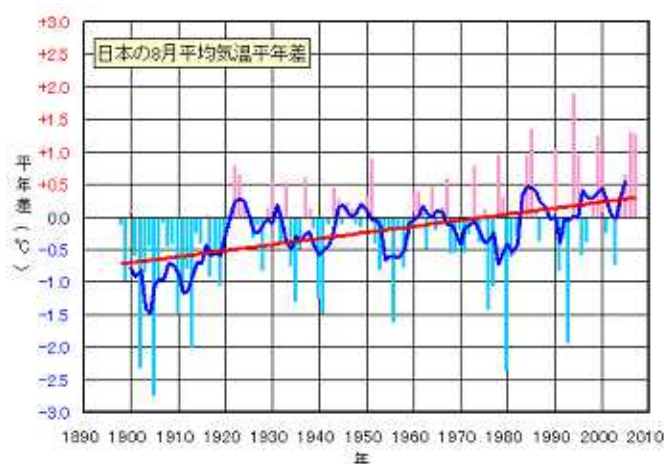


図 2 8月の平均気温の平年との差

出展： [http://www.data.kishou.go.jp/climate/cpdinfo/temp/aug\\_jpn.html](http://www.data.kishou.go.jp/climate/cpdinfo/temp/aug_jpn.html)

## 2、解決すべき課題

### (1) 高齢者や障害者

- ・ 高齢者や障害者が都市に足を踏み入れにくさ  
自動車利用が多い日本では事故に遭う危険性が高い
- ・ 高齢者や障害者の緊急での移動手段  
都市では渋滞などで移動が遅れる

### (2) 環境問題

- ・ 日本の自動車利用の多さによる排気ガス量の増加と燃料不足
- ・ 都市の自然  
ビルが建ち並び都市には自然が感じられない

## 3、「高齢者や環境に優しいまち」への提案

### (1) 高齢者や障害者への配慮

- ・ 都市の構成は人が必ず訪れる場所(病院等)を中心に周りを住宅地で囲む

高齢者や障害者は中心地に近い場所に住む

- ・ 住宅街の何箇所かから中心地の建物をパイプでつなく（パイプロード）
- ・ 二段に分けたパイプロードの上側は動く床で人が移動する
- ・ 下側は急病人やほとんど動けない人が利用する車が通る

(2) 環境への配慮

- ・ パイプの中は電気自動車が走る  
排気ガスがでないため、パイプロードの中での利用が可能であり、かつ環境への配慮や資源不足の解消が可能
- ・ 人が通らない場所での太陽光発電や風力発電の実施  
太陽光発電...パイプの上や地面に敷き詰める  
風力発電.....建物がない場所や建物の屋上
- ・ 建物の屋上などを利用した緑化活動

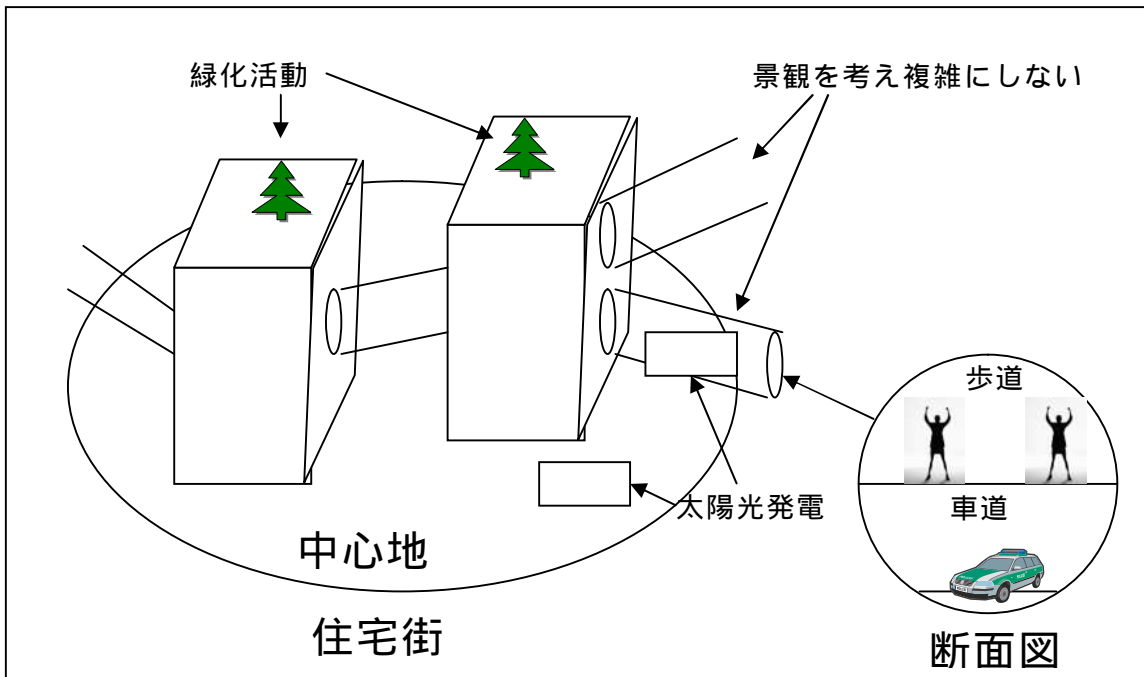


図 - 3 理想とする都市像

#### 4、都市分散型都市

このプロジェクトでは都市分散型を考えなければなりません。建物同士をパイプでつなぐ  
ので、建物から出るパイプの量が増え、景観的に複雑すぎて良くないと考えられ、さらに、  
道が増え高齢者や障害者が移動したい場所に行くのに不便になっては意味がありません。

#### 5、プロジェクトを実際に行う時

このプロジェクトは都市を1から建て直す必要があるなので、完成までの期間や資金、  
労働力など全てにおいて必要以上にかかります。しかしそれだけの価値はあると思います。

若い人は今の状態でも環境が変わっても暮らしていけます。しかし、高齢者に今の日本  
は暮らしづらいと思います。今の日本人のほぼ4人に1人は高齢者なので、高齢者に合わ  
せた社会を作らなければ住みよい日本とは言えません。環境についても今までの資源に頼  
りっぱなしではいけないことはわかっているはずですが、時間はかかると思いますが、もし  
自分がこの先高齢者になった時にこのような都市に住むことができたならどんなにすばらし  
いでしょうか。ぜひ、高齢者を一番に考えた都市を造ってほしいと思います。